（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ぴっころ円山			
○保護者評価実施期間	令和8年　3月　2日		～	令和8年　3月　13日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17家庭	（回答者数）	15家庭
○従業者評価実施期間	令和8年　3月　2日		～	令和8年　3月　13日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6人	（回答者数）	6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　3月　23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校・家庭・事業所で異なる姿を前提に、放課後の生活場面として本人に合った関わり方を考えられること。	学校後の疲れや気持ちの切り替えも含め、その日の状態を見ながら活動への参加方法や過ごし方を調整している。	学校生活との違いも踏まえ、本人が安心して切り替えられる方法や自分で整える方法を増やす。
2	友だちとの実際のやり取りを、社会性を学ぶ支援機会として捉えられること。	意見の違い、順番、距離感等の場面で、すぐに大人が解決せず、本人同士の気持ちや考えを整理する橋渡しを意識している。	トラブルの有無だけで評価せず、本人がどう伝え、どう折り合いをつけたかを振り返り次の経験につなげる。
3	年齢が上がるにつれて本人の希望や自己選択を支援の中心に置きやすいこと。	活動や過ごし方について本人の意向を確認し、必要な支援とのバランスを取りながら参加方法を考えている。	本人が自分の得意・苦手や必要な助けを理解し、選択や相談ができる経験を積み重ねる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校後の限られた時間の中では、活動を進めることが優先され、本人が考えて選ぶ時間が不足する場合がある。	送迎や帰宅時間など時間的制約があり、大人が効率を優先して進め方を決めやすい。	選択肢を絞る、事前に見通しを示す等、時間の中でも本人が決められる場面を確保する。
2	学校・家庭との情報共有が必要なケースと、日常的な共有までは必要としないケースの整理が難しいこと。	本人の成長や生活状況によって必要な連携の程度が変化するため、一律の連携方法では対応しにくい。	保護者の意向を確認し、支援上必要な情報と共有先を整理して、目的のある連携につなげる。
3	将来の生活や社会参加につながる経験を、日々の活動の中でより明確に位置付ける必要がある。	日常の活動にも自己管理や対人関係等の要素は含まれるが、本人や保護者からは目的が見えにくい場合がある。	活動の中にある生活・社会参加の要素を整理し、年齢に応じた目標として本人と共有する。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能型事業所びっころ円山

公表日　令和8年　3月　23日

利用児童数 17家庭　回収数 15家庭

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14			1		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				本人の様子をよく見てもらえていると感じます。	今後も日々の反応を丁寧に捉え、支援のねらいと実際の関わりがつながるよう検討します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			4	支援プログラムについて、どこを見れば分かるのか迷うことがあります。	掲載場所や内容が分かりやすく伝わるよう、周知方法を見直します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				面談で子どもの特性や家庭での様子を丁寧に聞いていただき、保護者の意向も踏まえて計画を作成してもらっています。	保護者の意向と子どもの姿の両面を確認し、個別支援計画と実際の支援内容がつながるよう継続して見直します。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1	個別支援計画について、子どもに合った(親のニーズに合った)内容で設定され、その計画に沿った支援が行われていると思います。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1			個別支援計画について、子どもに合った(親のニーズに合った)内容で設定され、その計画に沿った支援が行われていると思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				いろいろな経験ができ、利用日を楽しみにしています。	活動の種類だけでなく、本人にとってどのような経験になるかを意識して内容を検討します。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	7		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1		4	家庭でも参考にできる関わり方を知れる機会があると嬉しいです。	家庭で活用しやすい情報の伝え方について、ニーズを確認しながら検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14			1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14			1	日々の様子を伝え合えるため安心しています。必要な時に相談できることも助かっています。	送迎時・電話・面談等を活用し、家庭と事業所で見られる子どもの姿を共有しながら支援に反映します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	1	7	保護者同士の交流については、どのような機会があるのか分かりません。	保護者や家族への支援について、必要とされる内容や参加しやすい方法を確認していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				ノート等で支援中の様子が分かりやすく、家庭での関わりの参考にもなっています。	支援場面で見られた変化や有効だった関わりを、家庭でも活用しやすい形で共有できるよう努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			1	ホームページで活動の様子を見ることを楽しみにしています。	活動の様子に加え、研修・訓練・自己評価等についても必要な情報が届くよう発信内容を見直します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1			毎回の活動の様子をHPで見るのが楽しみです。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1	マニュアルや訓練について、実施している内容がもう少し分かると安心です。	安全に関する取組や訓練について、契約時だけでなく日常的にも確認できる周知方法を検討します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		4	緊急時の対応について、普段は確認する機会が少ないため詳しく知れると安心です。	安全に関する取組が確認しやすくなるよう、情報提供の方法を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		7	避難訓練の実施状況は詳しく分からないため「わからない」としました。	訓練等の取組について、保護者にも伝わる方法を検討します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1			本人が安心して通えており、利用日を楽しみにしています。	子どもが安心して自分らしく参加できる関係づくりを大切にし、本人の様子に応じた支援を継続します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				本人が安心して通えており、成長も感じています。	本人の安心感と成長の両方を大切にし、支援内容を継続的に振り返ります。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所びっころ円山

公表日 令和8年3月23日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用人数や活動内容を踏まえ、活動場所や過ごし方を調整している。	
	2	利用定員や、こどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用状況に応じて職員間で役割を確認しながら支援している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの特性やその日の状態に応じて、分かりやすい環境設定を意識している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動前後の整理や清掃を行い、過ごしやすい環境を意識している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（保育設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表によって、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で日々の気付きや支援上の課題を共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修や日々の支援の振り返りを通して、支援の質の向上を図っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	通園のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		面談や日々の様子からニーズを整理し、支援計画に反映している。	行動の結果だけでなく背景や取り組みやすい手段まで整理し、具体的な支援につなげる。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		更新の際に担当者会議を行なっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		担当者会議等で支援計画のねらいを確認し、日々の支援へ反映している。	会議を活動場面に落とし込み、集団活動の中で個別目標を意識した関わりができるよう確認する。
	15	こどもの通応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等による確認しているか。	○		独自のアセスメント表と日々の行動観察を組み合わせて、発達や生活上の様子を確認している。	年齢や発達段階に応じた視点を整理し、アセスメント結果を支援の優先順位につなげやすくする。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動のねらいを確認し、子どもの状態に応じて参加方法や難易度を調整している。	本人が選ぶ・考える・試す場面を意識して確保する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせ、支援計画に沿って経験できる場面を設定している。	集団の中で個別目標をどのように経験できたかを振り返り、次の活動設定に反映する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		午前午後で朝礼・昼礼を行ない、反省や打合せをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼・昼礼や適宜必要な場面で行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録を支援の振り返りに活用している。	記録から小さな変化や有効だった関わりを整理し、次の支援に反映する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	相談支援事業所を利用しているご家庭が今現在ではいません。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		
	26	学校との情報共有（年間計画・行事予定・下校時刻等）や、必要な連絡調整を適切に行っているか。	○			ご家庭や各関係機関にも情報共有に当事業所は積極的である事は伝えているが、希望しているご家庭や関係のある関係機関のみ、連携を図れている。
	27	就学前に利用していた保育所・幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等との間で、必要に応じて情報共有と相互理解を図っているか。	○			二回の引き継ぎ会議にも情報や共に支援者同士理解ができる事は伝えているが、希望していなご家庭や関係のある関係機関のみ、連携を図れている。
	28	学校や家庭の生活を見据え、必要に応じて障害福祉サービス事業所等との情報共有や移行支援を行う体制を考えているか。 地域の他の地域の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、研修的に専門度や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	自立支援協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		定期的な訪問の時に助言を頂いている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			事務所で相談だった関わりや子どもの変化を、家庭でも活用しやすい具体的な形で共有する。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		職員がペアレントトレーニング研修に参加しているので、ロ ラいった点の関係や保護者会を検討しているが、実施に至っていない。 在宅向けに就学に向けた研修会は毎年実施
保護者への説明等	35	事業規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時からお伝えしている。	
	36	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さまざまな問題を交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	感染防止によるお勉強会や就学に関する説明会等は行なっているが、対象年齢があるため、一部のためのの開催になっている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		情報発信を行なうようにしているが、勉強会や防災訓練の告知を徹底出来ていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについて同意を得ている。	
	43	障害のあるこども や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待した行事は毎年開封はしているが、どういった行事が適切か模索中。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		見学・契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	除去を徹底しているが、指示書に基づいた対応ではない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		ヒヤリハットや気付きを共有し、対応方法を確認している。	事故防止だけでなく、支援方法や環境設定の見直しにも活用する。
	50	こどもの安全確保に関して、家族との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		契約時に説明をしているが、ご家庭と連携が図れるような説明にはなっていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや気付きを職員間で共有し、対応方	事故防止だけでなく、子どもの行動の背景や支援方法まで振り返り、再発防止と支援改善の両面に活用する。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			